鹿島小だより

第４９号　平成３０年１２月６日（木）発行　文責：鈴木
【電話】0244-46-2240【ホームページ】https://minamisoma.fcs.ed.jp
平成３０年度重点目標「話し合おう　やってみよう」

万が一の火災に備えて

11月29日(木)には相馬消防本部鹿島分署の伊賀さんと渡邊さんにお越しいただき、避難訓練を行いました。この日は、火災を想定した訓練です。非常ベルが鳴り放送で避難の指示があった後、全校生が校庭に避難しました。素早い行動をとることができたため、全校生の避難完了まで2分22秒と、4月末の訓練よりもだいぶ時間が短縮できました。今回は訓練用の消火器を準備していただき、代表の子どもたちや教職員が実際に消火活動を行いました。本物の消火器の場合、噴射している時間が10～15秒と短いので、いかに初期消火が大切であるかを体験しました。災害は学校や家にいる時に起こるとは限りません。「災害は忘れた頃にやって来る」とも言われます。いつ、どこで、どんな災害に遭遇しても自分の命は自分で守れるようにするために、日頃からの訓練の大切さを痛感しました。

小中学校の先生方が一堂に会して

11月30日(金)には鹿島区内の小中学校のほとんどの先生方が本校に集まり、授業研究会を行いました。この日は4年2組の国語、5年1組の算数、6年2組の外国語の授業を参観していただきました。それぞれの教室では、子どもたちが活発に学習に取り組む様子が見られました。授業の後には、この日の授業がどうだったか、また、鹿島区全体として小中学生の学力を向上させていくために、普段からどんなことを心がけて授業を進めていったらよいのかなどが話し合われました。すべての学年で、今の学年で身に付けなければならないことをしっかり理解して、次の学年へつないでいくことが大切です。6年生は中学生になるまで、あと半年を切りました。小学校での学習のまとめの時期に入っていきます。

《裏面もご覧ください》

《　お　め　で　と　う　》

◆　南相馬市交通安全スローガン・小学生の部
佳　作　６年　伊藤　　さん「余裕ない　その運転が　身の危険」

◆　第18回湯河原文学賞・俳句の部
優秀賞　２年　鈴木　　さん「雪うさぎ　作ったお手ては　まっかっか」